

朝六小だより

朝霞市立朝霞第六小学校

児童数 1094名

令和7年6月2日号



水泳学習が始まります

校長 ^{こじま たかし} 小島 孝之

今月から水泳学習が始まります。水泳の学習は低学年では水に慣れることが目的で、もぐったり浮いたり移動したりする遊びを中心に学びます。次に、中学年になると水泳運動となり、け伸びやばた足、かえる足、息継ぎなどを学び、高学年ではクロールや平泳ぎを息継ぎしながら25～50m程度を目安に泳ぐことが目標となります。また、万一のことを想定して水面に浮かぶ姿勢の練習なども行います。子供たちには水に親しみながら、水泳運動の楽しさや喜びを味わってもらいたいと思っています。本校は、水泳学習の際に学校応援団の保護者の方に見守り等のご協力をいただいています。心より感謝申し上げます。ありがとうございます。



〈教職員によるプール清掃〉

本校は生活・総合的な学習の時間の研究を進めています

先月号でもふれましたが、本校の校内研究は、清藤 望（きよとう のぞみ）研究主任を中心に、「生活科」と「総合的な学習の時間」という2つの教科を柱に据え、学校全体で教員の指導力向上のため組織的な研究を進めています。

研究主題が『児童が自ら、学びに向かう授業づくり』とし、副題を、～自律と探究「生活科・総合的な学習の時間」を通して～と定め、今年で研究4年目を迎えています。11月19日（水）には市内外の先生を対象に、研究発表会を実施する予定です。発表は一つの区切りですが、研究の目的は、子供たちに確かな学力をつけるため、私たちがどのように指導をすればよいのか、そのことを学ぶための研究です。「確かな学力」とは、単に知識や技能の習得ではなく、学習意欲をもとに、自分なりに考え、判断し、他者と協力しながらよりよく課題を解決する能力まで含めたものと考えられています。私たち六小の教職員は、変化の激しい予測困難なこの世の中を、子供たちが他人事ととらえず、自分事として考え、主体的に生きぬいていくためにはどのような授業をすればよいのか、そのための研究を毎日進めています。

今月号は、1，2年生の生活科の学習の様子をお知らせいたします。



1年生は、まずは学校を探検して、施設を知り、校内にいる人と出会い、あいさつをするなどして交流の輪を広げます。その後、身近な自然を観察して、関わり方について考える学習を行います。



2年生は、野菜を育てる活動を通して、日々の成長の様子に関心をもって働きかけを行います。また、葉の茂りや実りなどによる様々な生命の営みを実感できるように学習を進めていきます。